対談特集

一 選手たちが語る駅伝への思いとは

夏合宿にて行った対談取材を一部抜粋。さらに読みたい方はコマスポHPへ。



−チーム内での呼び方は大聖:栄と東北です。高校名ですね(笑)

- 同じ名前だが、意識しているか

大成・大聖:はい(笑)

大聖:切磋琢磨していきたいです。

- チーム内でのライバルは

大聖:東北たいせい(中村大成)は意識していますが、 先輩たちに追いついて追い越したいです。高本さん や中村佳樹さんを近い目標にしています。

大成:1年生で一番意識しているのは栄のたいせい (中村大聖)で、一番走れているので勝ちたいです。 それから2年生の先輩を1人でも多く食いたいです。

-初めての駅伝シーズンだが、どの駅伝を走りたいか、またチームにどのように貢献したいか 大成:とにかく箱根駅伝を走りたいという目標をもってやっていきたいです。走れるならどの区間でも いいので、駒大の優勝に貢献できる走りをしたいです。

大聖:もちろん出雲から狙っていきたいと思っています。先輩方もとても強いのですが、下からの突き上げがなければ優勝は難しいと思いますし、中堅の選手がいかに強いかがポイントになってくるのでもちろん走りたいのですが、走らせてもらえる時にしっかり走れる実力をつけたいです。特に走りたい区間は、平坦で勝負したいです。

-5-

-上半期を振り返って

下:5000mと1万mで両方ベストは出たんですけど、自分の目標としていたタイムには全然届いていません。でも練習自体は一個上のレベルの人と一緒に練習をしっかり積めていたので、あとは試合に結果として表れればいいかなと思っています。

伊勢:上半期は5000mと1万mと1回ずつ出場したんですけど、両方とも自分の思うような走りができませんでした。上半期はあまりよくない状態で、練習もAチームでやってできなかったりというのがあったのであまりよくなかったです。でも、夏合宿に入ってから、去年と同じように 調子も上がってきたと思うので、下半期はいい結果が出せるんじゃないかなと今は自信に感じています。

一駅伝シーズンに向けての抱負は

で往路を走りたいです。

下:今年はチームとして勝負の年ということがあるので三大駅伝3つとも優勝できるように貢献できる走りをしたいです。去年の全日本駅伝はつなぎの区間だったのですが今年は自分としてもチームの主力としてやっていく自覚を持っているので、主力区間をしっかり走りたいです。箱根に関しては往路での順位がそのまま総合順位にもつながっているので往路の区間を任されるような選手になりたいと思います。伊勢:箱根駅伝は大学駅伝の中でも1番注目される駅伝ですし、そこでしっかり結果を出していきたいなと思っています。具体的な区間は

ないですが、自分も往路でチームに流れを作るような走りをしたいの

伊勢翔吾(経2)

全日本駅伝プチ情報

其の三

全日本大学駅伝は、全長106.8kmのコース。これがどのくらいの距離か例えると、東京から熱海までが大体100kmほど。駒澤大学にほど近い、駒沢公園のジョギングコースは1周約2.1km。つまり、約50周。これほどの長い距離を走る選手たちの活躍を、ぜひ最後まで見届けていただきたい。